

軽合金研究部会 委員募集

(公社)日本铸造工学会 軽合金研究部会

実施テーマ:「軽合金鋳物の高品質化技術」

期間 : 令和2年10月～令和5年9月
部会長 : 茂泉 健 (いすゞ自動車(株))
幹事 : 岩澤 秀 (静岡県工業技術研究所)

研究部会趣旨:

軽合金研究部会は、アルミニウム合金鋳物に関する研究を目的に、昭和49年に発足されました。企業と大学、公設試の技術者と研究者が集まり、共通のテーマを抽出して情報交換と共同研究を行うことで、アルミニウム合金鋳造に関する技術力を向上させることを目的としています。その考え方は現在も受け継がれており、参加委員による共同研究を大きな柱として活動を行っています。

本研究部会における共同研究として、これまでにアルミニウム合金鋳物の鋳造・凝固過程で形成されるマイクロ組織や内包欠陥、直近では熱処理中の組織変化が機械的性質に及ぼす影響について系統的な調査・報告を行ってきました。一方最近では、CASEをはじめとするモビリティの変化に伴って軽量化のためのアルミニウム合金鋳物の適用拡大が望まれていること、あるいは地球環境保全の観点からは高品質かつ低炭素での材料リサイクル技術にも注目が集まっていることから、今後新しいテーマの取組みも検討しています。

本研究部会における研究活動は3年間を基本とし、年間3～4回の研究部会(会合)を開催しています。初年度に話題提供やアンケートの実施などを通じて共同研究テーマの絞り込みを行うとともに具体的な研究計画を立案します。2年目は、共同研究を進めるとともに、逐次、研究部会を開催し、得られた研究結果について議論を行います。最終年度は、共同研究成果の取り纏めを行うとともに、研究報告書の作成ならびにシンポジウムの開催を通じて共同研究成果を広く公開し、当該分野における技術の発展に貢献します。またその間、国内外の学術研究誌について調査を行い、「鋳造工学」誌に「レビュー」として掲載することを通じて、アルミニウム合金鋳物に関する最新の研究開発動向を紹介しています。(コロナウィルスの影響により、今期は会期を半年遅らせて2020年10月から開始する予定です。また状況によってはWebミーティングを主体とした会合になる可能性があります。)

なお、委員は部会費として30,000円/年をご負担いただきます。予めご承知おきください。

【問い合わせ/申し込み先】

学会 HP お問い合わせフォーム

<https://jfs.or.jp/workshop/keigoukin/#contact>

幹事: 岩澤 秀

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田 1-3-3

TEL:053-428-4155, FAX:053-428-4160

Mail: shigeru2_iwasawa@pref.shizuoka.lg.jp,